

景況レポート・8月

8月の県内景況は、猛暑により季節商品等の売上は増加したものの、原料・資材の高騰により依然と厳しい状況。

情報連絡員による平成25年8月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが45.0%（前月比+0.9）、「横這い」は30.0%（同-3.9）、「好況」は25.0%（同+3.0）となっており、業界全体の「景況感DI」は-20.0（同+2.0）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「在庫数量（製造・商業）」「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」が前月と比較して減少しています。
- ◇「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」が前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造業、小売業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、卸売業、商店街は「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。
※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

- ◇食品製造業、旅館業、商店街より、福島第一原発の地下水流出問題で新たな風評被害をもたらすのではないかと不安の声がありました。
- ◇食品製造業より、原料・資材の高騰の影響について報告がありました。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が20.0%（前月比-0.3）と減少しております。（好転の回答0件、やや好転の回答12件）（製造業8、非製造業4）また、やや悪化、悪化の見込みは、26.7%（前月比-3.8）と減少しております。変わらないが、53.3%（前月比+4.1）と増加しております。

平成25年8月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

木材・木製品製造業

<製材業>

復興住宅の建設を中心に住宅着工が堅調であり、特に浜通り地域の製品荷動きが活発化し、製品市況が回復に向かっている。この動きは原木・丸太にも波及し、売れ行きが好調で価格も上昇基調にある。

<外材輸入>

製材品の荷動きは順調に推移しているが、旧盆のため稼働日数は減少、出荷量も減少した。9、10月にかけて荷動きは回復してくると思われるが、高コストになっており一段の価格転嫁が必要である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高、収益状況とも前月比で横ばい傾向で、前年同月比でもあまり変動はない。一方、見積もり引き合いはやや好転状況にあるが受注につながるかは不透明な状況である。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

原発事故以来、依然と続く風評被害がなかなか払拭できず、大変な思いで日々努力を重ねている。特に貼箱業者の課題が多すぎる。その例としては、紙器業界の置かれている位置、なぜ貼箱マーケットが広がらないのか、貼箱の歴史に見た優位性、紙器の原点である「貼箱」を復活させるマーケットの確保等、多くの課題に直面している状況にある。

小売業

<共同店舗>

（会津地区のBショッピングセンター）

電力料金15%の値上げは、組合員のスーパーの収益を悪化させるものとなる。体力がないため、効率の良い（消費電力の少ない）ショーケースに取り替えられない。組合としては、店舗照明をLEDに交換し、長期を見据えたコスト削減を検討中。（県中地区のNショッピングセンター）

お年寄り向け送迎事業が順調に進んでいることから、来月以降さらなる利用客増加策を展開したい。福島第一原発の汚染水問題により、福島加工系の水産物に対する敬遠ムードが高まりつつあるように思われる。

<石油>

一旦落ち着きを見せた元売仕切であったものの、シリア情勢の悪化により8月下旬に再び大幅上昇となった。今後の情勢も不透明な事から更なる価格上昇も予想される。

<青果>

8月に入り猛暑の影響もあり（7月とは逆ではあるが）野菜・果物の生育が悪く、単価が高騰した分売上が多少増加した。取扱の量が増加した訳ではない。桃も糖度が高かったが、原発の災害前の取扱には依然戻ってはいない。お盆ということもあり、花の取扱は例年どおりではあったが、野菜・果物の取扱は量販店におされている。9月後半から10月、11月と山菜・柿の取扱が始まるので少しでも増加させたい。

<電機>

猛暑により全体的に冷蔵庫・エアコンの売上が良くなっている。

印刷業

<印刷>

異常気象の猛暑や株価下落などの影響で、消費者の購買心が鈍っていると思われ、印刷物の受注も減少傾向にあり、各社とも苦慮しているようである。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

毎年8月は盆の帰省客等で数字が上がるが9月は通常に戻る。

<砕石>

（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約6%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約67%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約70%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事等の出荷で増となっている。

<生コン>

平成25年8月の組合員生コン出荷数量は、147,815 m³と対前年同月比15.1%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比9.8%の増、官公需が16.6%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 9.8%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 25.4%の増

工場、店舗新築、建替工事等

<白河地区> 22.9%の増

工場、倉庫新築工事等

<相双地区> 62.9%の増

原発保安対策工事、常磐道工事等

<会津地区> 3.1%の増

倉庫新築、民間住宅工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 14.1%の減

工場、店舗新築、増築工事等

<いわき地区> 1.9%の減

工場新築工事等

■官公需の動向

対前年同月比 16.6%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 18.8%の増

再生可能エネルギー研究所工事、災害復旧工事等

<いわき地区> 37.7%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 42.5%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 19.9%の減

栗子トンネル2期工事、東北道福島JCT工事等

<白河地区> 18.9%の減

県営、市営住宅災害復旧工事等

<会津地区> 19.6%の減

道路・橋梁復旧工事等

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の生産の最盛期のため、リンキングの行程の作業がつかっており、納期が遅れている状況である。リンキングができる人材確保が課題である。

<縫製品>

秋冬物の生産も9月中旬でほぼ終了する予定である。春物の投入が始まるまでの受注が心配である。

食品製造業

<漬物>

福島第一原発の地下水流出問題でテレビ・マスコミが大きく取り上げ、福島県の食品について消費者の不安感が大きくなっているように思う。食品製造業でも農水物加工品、地名を使った商品など原発に近い製造業の住所の品物は特に厳しくなるものと思われる。

<パン>

職種がら猛暑の影響が売上の減少をきたしている。

<味噌醤油>

出荷量は相変わらず、低迷が続いている。原材料資材も値上がりしている状況。取引先の回復も戻らず、中小企業零細企業はさらなる深刻な影響が出てきそうである。一時期より悪化しているようである。

<菓子>

猛暑、天候不順が続き業界全体として景気を上向ける状況にない。原材料価格が少しずつ上昇してきており、収益に影響がでてきている。

<乾麺>

東北は天候不順により売上減、特に北東北は大幅に減少。10月の政府小麦売渡価格改定により強力粉系3%、中薄力粉系6.2%値上げ。雨不足で生産量が減少したためオーストラリア産小麦ASWが高止まりで推移しているため中力粉系が値上げが大きい。小麦粉で100～150円くらいと思われる。前回と前々回の値上げ330円に加算すると430円～480円の値上げとなり、前回の値上げができない現状では経営は苦しくなると思う。

<酒造>

吟醸酒、純米酒の伸びが良い。特定名称酒の割合も40%を越え安定してきた。原料・資材の高騰の為、値上げをする組合員も出ている。

<食品団地>

梅雨明け以降、例年以上に暑く季節商品の売上は増加したが、原材料及び原油の価格が高止まりしているため厳しい状況が続いている。

運輸業

<トラック運送>

（県北地区）

トラック運送業界では、エジプト情勢に引き続きシリア情勢の緊迫化による供給を背景に軽油価格は続伸して、依然としてコスト負担が広がってきている。そのような中で、原発からの高濃度の汚染水が海洋流出報道と次々に露呈するありさまには怒りを感じざるを得ない。このようなことで福島県は本当に復興できるのであるか？

（県中地区）

人手不足である。

<ハイヤータクシー>

企業が休みの関係もあるが前月と比べ落ち込みが厳しい。

サービス業

<クリーニング>

8月はクリーニング業において閑散期となる。それはドライクリーニング品が激減するためである。しかしこの低調は季節的要因ばかりでない様に思う。何か手を打ちたいがその対策がない。

<旅館業>

(湯本温泉)
8月は学生達の夏休み期間中だったため、家族連れでスパリゾートハワイアンズに出かける方が多かった。
(土湯温泉)

夏休みシーズンであったが、子供たちの声も聞かれない夏であった。また、震災も風化しつつあり、支援的な観光も減りつつある。このような中で原子力発電所の汚染水問題はさらなる痛手である。

<理容業>

8月に入り梅雨明けしたら連日の猛暑で夏メニューが好調で忙しかった。冷シャンプーもすっかり板に付き、努力している店は売上げを伸ばしている。お客様に少しでも快適に夏を乗り切ってもらえるよう組合をあげて夏メニューを提案してきたのが良かったと思う。商売は1にも2にもお客様が喜んでくれるものを提供するのが基本である。いつもと同じ調髪でも季節感を生かし新鮮なメニューにする事が大切である。これからは秋に向けて暑さや紫外線で傷んだ髪やお肌のケアを提案し喜んでもらえるよう組合をあげて頑張ろうと思っている。

<廃棄物収集運搬業>

短期事業は好調です。事業（既存）も良くなりつつありますが、人的確保が難しいです。

建設業

<建設業>

(県一円)
福島県公共土木施設の災害復旧工事進捗状況（平成25年7月10日現在）福島県資料より
・東日本大震災の被災箇所…74%の箇所で着手、52%の箇所まで完成に至る
・新潟・福島豪雨の被災箇所…100%の箇所で着手、66%の箇所まで完成に至る。
・台風15号の被災箇所…97%の箇所で着手、94%の箇所まで完成に至る。

(県南地区)

通常工事の発注が減少しており、さらに隣接地域の業者が落ちるケースが目立ち始めている。除染業務は地元建設業だけでなく大手ゼネコンの受注が多くなってきている。

<管工事>

前月比で給水・排水設備申請が増加。前年同月累計対比では、給水設備申請が増加し排水設備申請は減少している。

<専門工事>

猛暑続きであった一方で、前月に引き続き温度が高い状態が続いていたが、月末段階で急激に秋めいて、朝夕の冷え込みと日中の温度差による体調管理が難しくなったのではないかとと思われる。仕事面では、相変わらずの人手不足状態があり、単純増の人員費が現場経費を直接圧迫しているし、将来にわたって改善される目処が立っていない。前年度予算の未消化による工事の発注等が計画されているようだが、根本的な問題を解決しないままでは、さらに閉塞するばかりなので、発注ばかりでなく業界を支える技術者の育成等についても対応を要する。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)
建築資材、設備において前年度に比べて単価が上がってきている。人件費の高騰と相まって工事部門においては入札が不調に終わるケースもある。先行の仕事量が確保され、見通しは立っているが現在は人手不足が悩みの種。建築資材に限らず、ほかの業界においても同様の傾向（人材確保の難しさ）が見られ始めている。青果物については天候不順の影響もあり、品薄・単価高にさいなまれた。秋に向けては、きのご類の出荷制限も痛手となっている。風評被害や学校関係の需要が激減したことによって見通しは依然厳しい。

<再生資源>

8月は、猛暑が続き作業効率も低下、再生資源原料の減少も著しく収益率は悪化している。価格はやや回復基調ではあるが、数量の減少が売上高の低下に繋がっている。競合、過当競争が激しくなる中、各社とも現状を維持する事も難しい状況となっている。

<青果>

8月は他県産物が天候（高温、干ばつ、大雨）の影響で不作品薄となり、県産青果物の需要が好調となった。

商店街

<福島市>

初旬にイベントがあり人出は見られたが、通常の売上にはつながらなかった。中旬以降は低迷中のままだに戻った。

<郡山市>

今月は今までにないくらい昨年より大きく減少しています。8月の記録的な猛暑は商店街の集客にも悪影響を与えたようだが、理由はそれだけではないだろうと思われる。震災後の原発事故の風評被害は徐々に弱まってきているような感じはしたが、今回の汚染水漏れの事件は新たな風評被害をもたらすかもしれません。まずは9月がどのようになるのか、動向を見守るしかありません。

<南相馬市>

全国商店街振興組合連合会の補助を受け、地域商業活性化事業に取り組んでいるが9月に入りお客様の動きも止まり、商店街を歩く人がめっきりと少なくなりました。また放射能汚染・水漏れは南相馬市にとって将来の不安材料となった復興に水を差しています。

<会津若松市>

空き店舗にラーメン店が入る。この夏は暑かったので夏物商品は良かったのではないかと。

<いわき市>

暑い日が続く、夏物を中心に売上はいいようだが、あまりの暑さにシルバーミセス層の足が鈍く、全体的には前年並みのようである。平の七夕祭りも初日のゲリラ豪雨が心配されたが2日、3日目が天候に恵まれ例年並みの人出、売上であった。昨年同様盆すぎからの残暑で街中には人が少ないが、秋物を早めに展開する店舗もあり、秋の気配を期待。飲食店は夏休み、帰省等で相変わらずの好調ぶりである。

景況天気図 8月

天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴 30以上	☁ 曇り -30~-10未満
☀ 晴れ 10~30未満	☔ 雨 -50~-30未満
☁ うす曇り -10~10未満	☔ 大雨 -50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☀ 14.29	☁ -28.57	☀ 14.29	☀ 14.29	☁ -28.57	☔ -42.86	☁ -28.57	☁ -28.57	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -42.86	☔ -42.86
繊維製品製造	☀ 33.33	☁ 0.00	☔ -33.33	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33
木材製造	☔ -75.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☀ 25.00	☔ -50.00	☁ 0.00	☔ -50.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☀ 50.00
鉄工機械製造	☔ -60.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -40.00	☔ -40.00	☔ -40.00	☔ -40.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☔ -40.00	☔ -40.00
その他の製造	☔ -28.57	☀ 57.14	☁ 0.00	☀ 28.57	☀ 14.29	☀ 14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29
卸売業	☀ 25.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -25.00	☔ -25.00	☔ -25.00	☔ -25.00	☁ 0.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☔ -25.00
小売業	☀ 11.11	☀ 11.11	☀ 11.11	☀ 33.33	☔ -11.11	☔ -33.33	☔ -11.11	☁ 0.00	☁ -11.11	☁ -11.11	☔ -11.11	☀ 11.11
商店街	☔ -50.00	☔ -16.67	☔ -50.00	☔ -50.00	☔ -16.67	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -16.67	☔ -16.67	☔ -16.67	☔ -50.00	☔ -16.67
サービス業	☀ 42.86	☀ 28.57	☀ 14.29	☀ 28.57	☀ 28.57	☀ 28.57	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 14.29	☀ 14.29	☀ 14.29	☀ 14.29
建設業	☀ 20.00	☀ 60.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00
運輸業	☔ -33.33	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☁ 0.00	☔ -66.67	☔ -66.67	☔ -100.00

中央会
トピックス

～ 1組合に1組合士を！ ～

中小企業組合検定試験に挑戦して、中小企業組合士を目指してみませんか

中小企業組合士制度は、中小企業組合に従事する役職員の資質の向上を図るため、その職務の遂行に必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から一定の実務経験を有する者に対し、中小企業組合士の称号を与える制度です。現在、全国で3,356名（平成25年6月1日現在）の中小企業組合士が登録されており、組合はもちろん中小企業団体中央会、商工組合中央金庫等それぞれの分野において活躍されています。ぜひ皆様方のチャレンジをお待ちしています。

■試験期日

- 平成25年12月1日(日) 検定試験種目は、「組合制度」「組合運営」「組合会計」の3科目です。
 (1) 組合会計 10:00~12:00 (2時間)
 (2) 組合制度 13:00~14:20 (1時間20分)
 (3) 組合運営 14:40~16:00 (1時間20分)

■試験場所

札幌・青森・秋田・仙台・さいたま・東京・長野・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・松江・山口・高松・福岡・長崎・大分・鹿児島・那覇の21都市22会場です。

福島県の会場は、郡山市 南東北総合卸センター協同組合で行います。

- 願書受付 平成25年9月2日(月)~平成25年10月15日(火) ■受験料 5,000円 (一部科目免除者は3,000円)
必要書類に受験料を添えて本会企画情報課へお申込みください。

中小企業組合検定試験、組合士、組合士会に関するお問い合わせは…

福島県中小企業団体中央会 企画情報課 までお願いします。

TEL 024-536-1268 FAX 024-536-1217